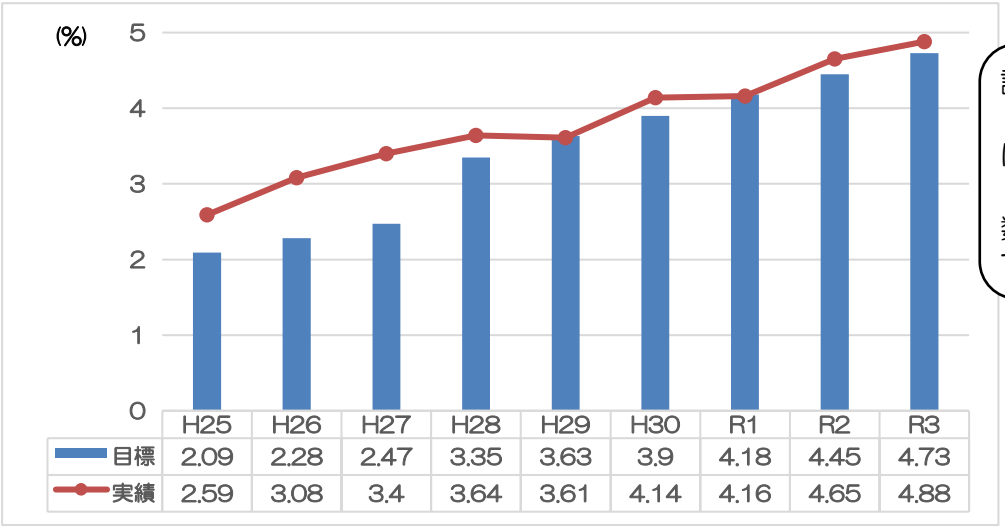
第二期環境基本計画の総括

（平成 25 年度～令和 3 年度）

1．エネルギーを大切にするまちづくり

≪成果指標≫再生可能エネルギーの世帯当たりの普及率



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	2.09	2.28	2.47	3.35	3.63	3.9	4.18	4.45	4.73
実績	2.59	3.08	3.4	3.64	3.61	4.14	4.16	4.65	4.88

※計画策定当初基準値：1.39%（平成 24 年 4 月 1 日時点）

東日本大震災の原子力発電所事故を契機に、エネルギー問題がクローズアップされるようになりました。そのような中、多くの電力を消費するライフスタイルの見直しや、気候変動に影響する温室効果ガスの排出抑制等を推進するとともに、一人でも多くの市民が持続可能な社会づくりに貢献できるまちを目指し、取り組みを進めてきました。

■第二期環境基本計画中の取り組み

- 市役所庁舎、阪急西山天王山駅、中央公民館に電気自動車の充電器を設置
- COOL CHOICE 宣言による市民の気候変動対策への参画の促進
- 太陽光発電をはじめとする公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 官民連携による小水力発電設備の導入
- はっぴぃバス利用者数の増　など

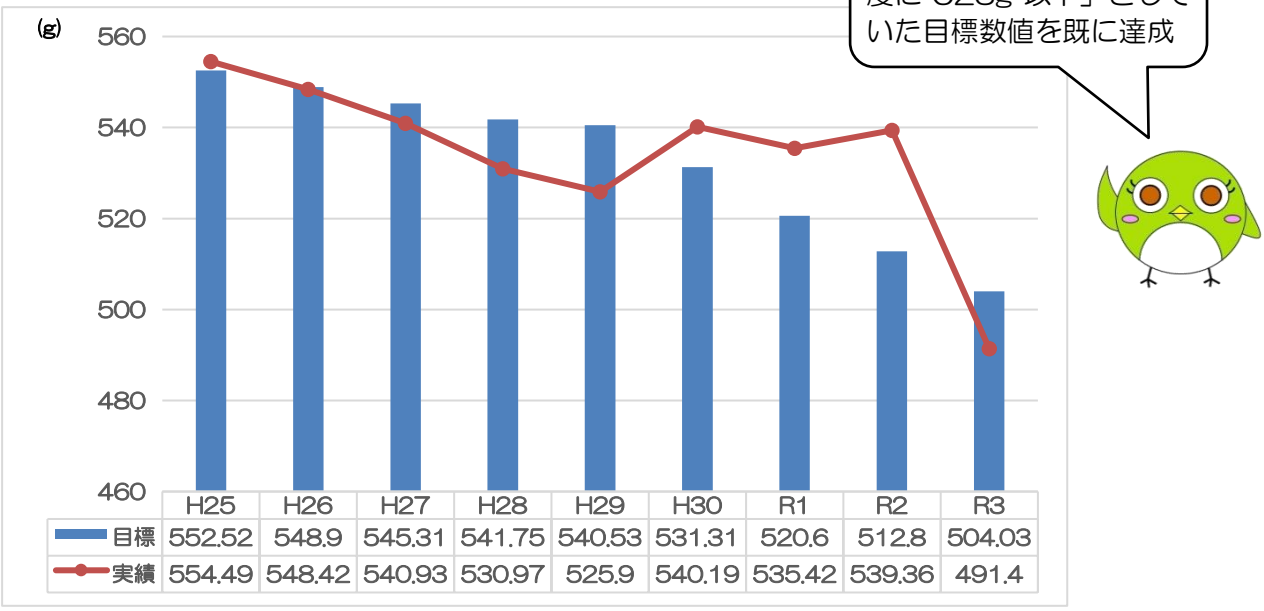
平成 30 年に行った COOL CHOICE 宣言

■第三期環境基本計画に向けて

- 廃熱や地中熱、水素などの未利用エネルギー等の活用
- 市域における再生可能エネルギー活用ポテンシャルの不透明さの解消
- 公共施設における消費電力総量に対する再生可能エネルギー比率の向上
- 電気の排出係数に左右されない再エネ電源の拡大
- 卒 FIT の活用検討を含めた自立・分散型エネルギーの仕組みづくり
- 建築物の環境性能の向上
- 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（令和 3 年 10 月 1 日施行）」の趣旨を踏まえた木材利用の促進　など

2．資源循環型社会の形成

≪成果指標≫一人一日当たりの収集ごみ量



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	552.52	548.9	545.31	541.75	540.53	531.31	520.6	512.8	504.03
実績	554.49	548.42	540.93	530.97	525.9	540.19	535.42	539.36	491.4

※計画策定当初基準値：567.7g（平成 24 年４月１日時点）

従来の大量消費型の生活は、地球規模での資源の枯渇や廃棄物処理の問題を発生させました。そのような問題に対処すべく、限りある資源の有効利用や、廃棄物の発生抑制といった、環境への負荷ができるだけ小さい資源循環型のまちを目指し、取り組みを進めてきました。

■第二期環境基本計画中の取り組み

- 保育所、小・中学校給食での食品残渣の資源化開始
- 市民団体によるフードドライブやリユースショップ、子ども食堂等の活動
- グリーン・ダウン・プロジェクト開始
- 指定ごみ袋制度の導入
- 上下水道ビジョン(R2～11)の策定
- 地下水 100%の水道水供給施設２箇所開設（累計３箇所）
- 小中学校へ雨水貯留浸透施設設置　など

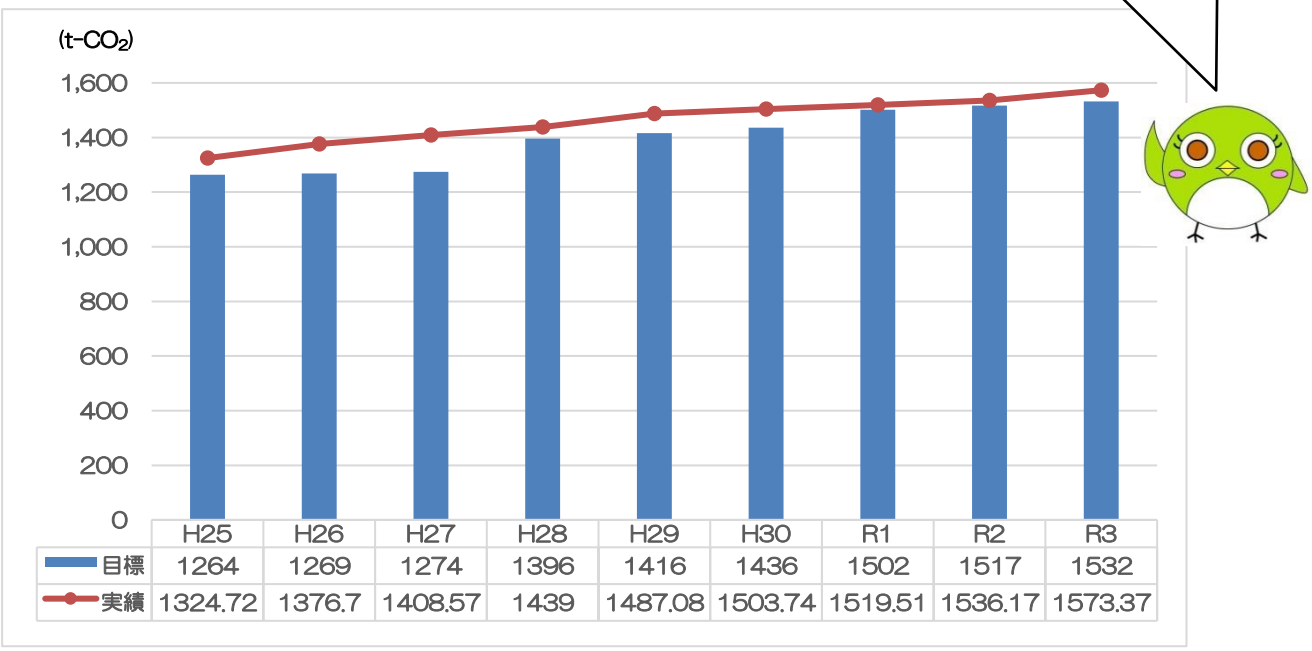
令和３年２月から本格実施した指定ごみ袋制度

■第三期環境基本計画に向けて

- 不法投棄（家電品等）件数の増加防止
- 「食品ロスの削減の推進に関する法律（令和元年 10 月１日施行）」の趣旨を踏まえた食品ロス削減策の強化
- プラスチックをはじめとする使い捨て大量消費の行動様式の見直し
- 気候変動による渇水の懸念への対応
- 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和４年４月１日施行予定）」を見据えた施策の検討　など

3．自然環境の保全

≪成果指標≫西山の森林の CO_2 吸収量（累計）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	1264	1269	1274	1396	1416	1436	1502	1517	1532
実績	1324.72	1376.7	1408.57	1439	1487.08	1503.74	1519.51	1536.17	1573.37

※計画策定当初基準値：累計 1,150.77t-CO_2（平成 24 年 4 月 1 日時点）

長岡京市のシンボルである西山をはじめ、多くの市民に愛されている小泉川や小畑川などは、CO_2 吸収や、水源の涵養、生物多様性の保全といった多面的な役割を果たしています。これらの自然環境を大切に守り育て、次世代に引き継いでいくことを目指し、取り組みを進めてきました。

■第二期環境基本計画中の取り組み

・計画的な西山の整備・保全・活用を推進
・ふるさと納税活用による 生物多様性を意識した森林整備　など

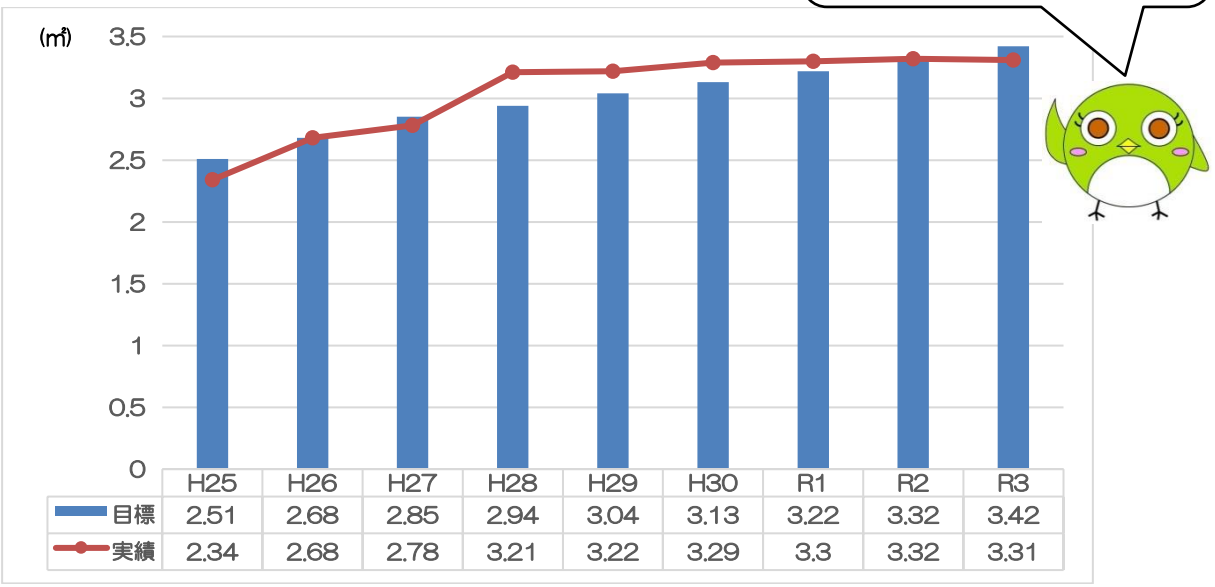
森林整備（間伐）によって明るくなった森林。森林を健全に保つことで、森林の持つ多面的機能を発揮することができる

■第三期環境基本計画に向けて

・農業者の高齢化や担い手不足による耕作放棄地の増加抑制
・大型台風等を想定した防災面に配慮した森林整備
・生物多様性の保全・啓発
・気候変動による農業影響の懸念への対応
・グリーンインフラの活用推進
・持続可能な竹林資源の活用方法の検討　など

4．快適な都市環境づくり

≪成果指標≫住民一人あたりの公園面積



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	2.51	2.68	2.85	2.94	3.04	3.13	3.22	3.32	3.42
実績	2.34	2.68	2.78	3.21	3.22	3.29	3.3	3.32	3.31

※計画策定当初基準値：2.3 ㎡（平成 24 年４月１日時点）

長岡京市においては、東部を中心に都市化が進展し、交通量の増加やそれに伴う CO_2 の増加、緑地空間の減少など、都市特有の環境問題が散見されます。そのため、市民が気軽にみどりにふれあうことができ、環境に配慮されたまちづくりを目指し、取り組みを進めてきました。

■第二期環境基本計画中の取り組み

- 西代里山公園や恵解山古墳公園など地域の魅力を生かした公園を開園
- みどりのサポーター制度による市内公園の緑化・維持管理の市民参画の推進
- 透水性舗装道路の整備
- 騒音、振動、水質等の各種環境調査の実施、指導など

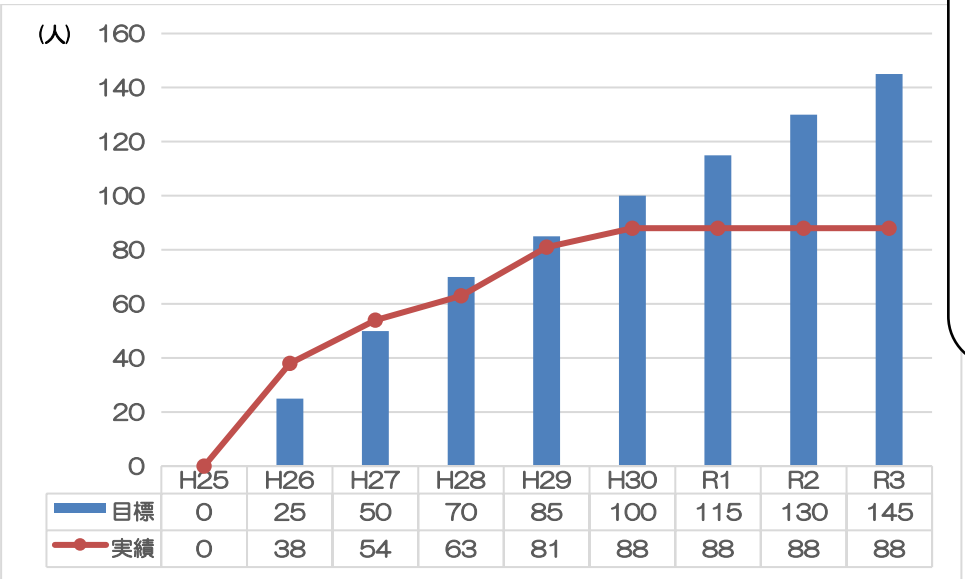
西山（里山）を身近に感じることができる西代里山公園

■第三期環境基本計画に向けて

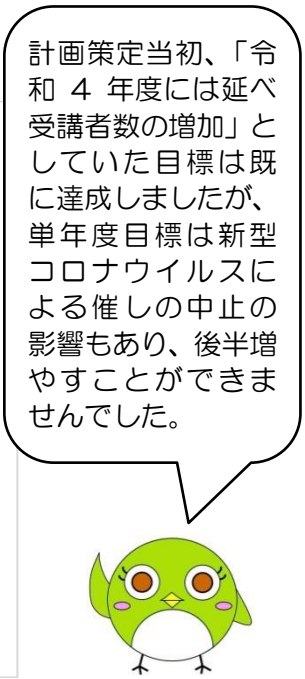
- 浸水対策事業と連携した雨水排除能力の向上
- 気候変動の影響による浸水害等への備え
- 空き家や空き地の適正管理による都市環境維持
- グリーンインフラの活用推進　など

5．協働・環境学習・エコアクションの推進

≪成果指標≫環境ボランティア養成講座の延べ受講者数



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	0	25	50	70	85	100	115	130	145
実績	0	38	54	63	81	88	88	88	88



※計画策定当初基準値：0 人（平成 24 年 4 月 1 日時点）

長岡京市では、市民や団体、事業者が、環境の取り組みの担い手として活発に活動されています。市民、団体、事業者、行政がそれぞれの役割と責任を果たし、協働・連携する中で、エコアクションの実践の輪が広がる、そのような環境活動の盛んなまちを目指し、取り組みを進めてきました。

■第二期環境基本計画中の取り組み

- 環境団体・サークル等の担い手発掘に向けた支援
- 森林ボランティア養成講座の開催
- 西山をフィールドとした環境学習の実施
- 市民参加型環境学習会の開催　など

西山での自然体験を通じて環境保全について理解を深めていただく「西山ファミリー環境探検隊」は、開催 50 回を超えた

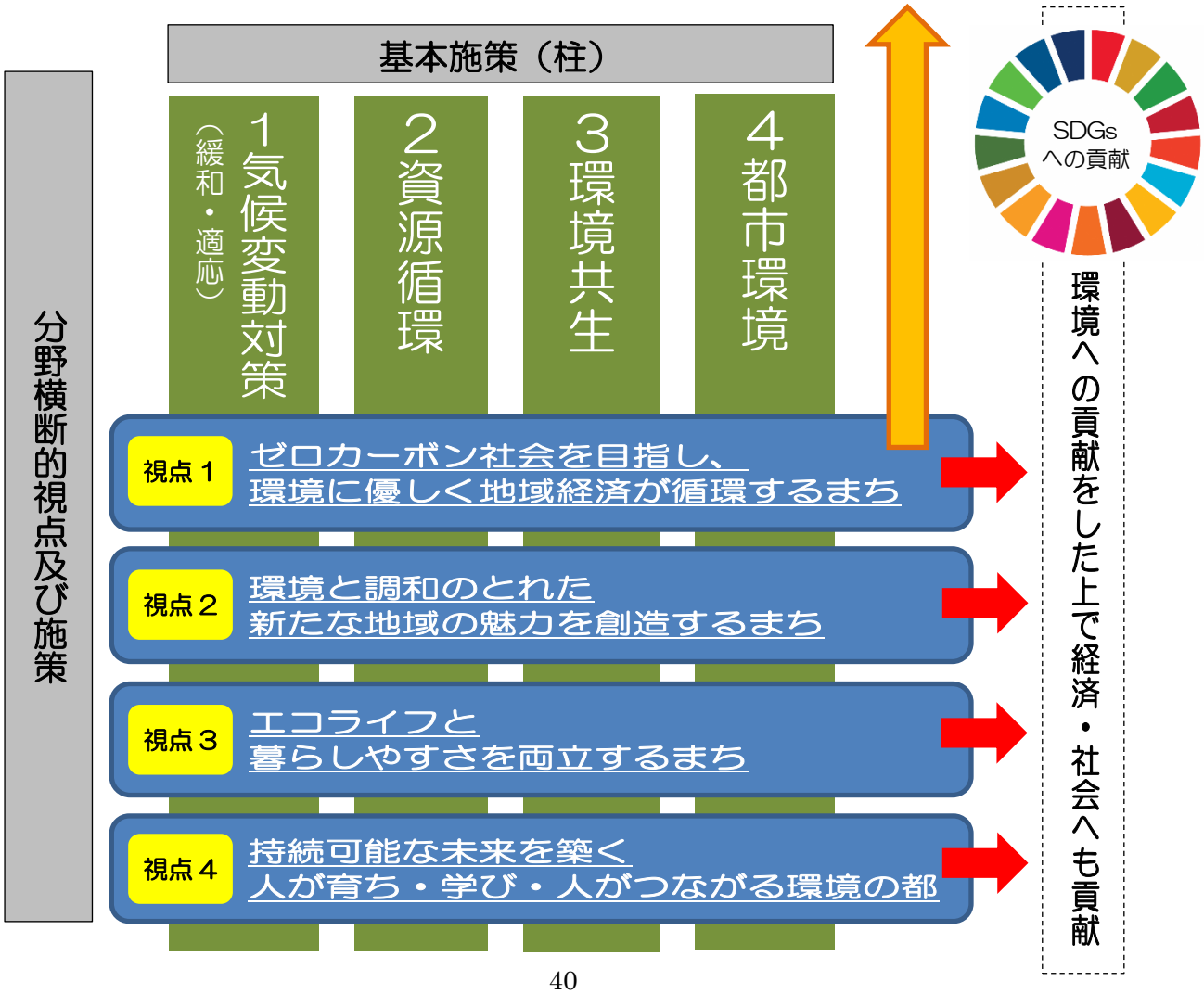
■第三期環境基本計画に向けて

- 環境団体の高齢化、担い手育成等の課題への支援
- 地域コミュニティにおける環境活動の活性化
- 持続可能な環境づくりのために行動する人の輪の拡大　など

第三期環境基本計画での分野横断的視点・ゼロカーボンシティ宣言

第三期環境基本計画では、「持続可能な開発目標」SDGs（Sustainable Development Goals）の視点を施策に取り入れます。SDGs には 17 のゴールがありますが、その重要なところは、「環境」「経済」「社会」と多分野にわたるゴールの統合的な向上を目指すことにあり、言い換えれば、個々の分野の向上を目指しつつも、他の分野が犠牲になってはいけないという、分野横断的視点の重要性をうたっているものです。

長岡京市第三期環境基本計画において環境施策を進めていくにあたっては、縦の施策展開だけでなく、分野横断的視点を持って施策を進め、環境への貢献をした上で、経済・社会へも貢献することを目指します。

また、喫緊の課題である気候変動問題については、長岡京市としてもこの問題に正面から取り組む決意を新たにするため、**「2050 年ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。「宣言」には「行動」が伴わなくてはなりません。**行政だけでなく、事業者等と連携しながら取り組みを進めていくことも重要です。本報告書 5 ページと 6 ページの取り組みは、その第一弾でもあります。今後も、様々な脱炭素化の取り組みを進めていきます。

2050 年ゼロカーボンシティ宣言の様子